



市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
T O P I C S



— 不知火町鴨籠地区で竹あかり開催 — 耕作放棄地の竹で地域活性化

8/7 不知火町の鴨籠地区で「Kamoko 竹あかり」が開催されました。これは地域の有志4人からなる「ふるさと蘇生Regain Nature Project」が、耕作放棄地から間伐した竹を有効活用し、豊かなふるさとの情景や生態系を取り戻す活動を周知しようと企画したもの。イベントでは、市文化財の「鴨籠橋」から白梅幼稚園の方向へ100m

①夜は幻想的な雰囲気 ②昼間の竹あかり ③おいしいドリンクのキッチンカーも出店 ④農業機械の展示 ⑤竹細工を買い求める客 ⑥好評だったトゥクトゥクの会場間送迎サービス

の区間に並べられた竹あかりのほか、働く農業・建設機械の試乗体験や竹細工の展示販売などが、訪れた客を楽しませていました。

イベントに参加した今村和弘さん(25)は「3年前に農業を継ぐために地元へ戻ってきました。私も先輩たちを見習い、楽しい地域を作りたいです。」と笑顔で話していました。



家族との思い出や出来事を語り合いながら気持ちを吐露

— 「つむぎ」豊野町の光照寺で初会合 — きょうだいを亡くした子と家族の語り場

7/4 豊野町の光照寺で、兄弟姉妹を亡くした子と家族が語り合う会「つむぎ」(宮崎さくら代表)が初めて開催されました。同会は、中学生以下の子とその家族が、亡くなった兄弟姉妹への思いなどを共有できる場づくりを目指し、発足。月1回程度会を開き、さまざまな思いを表現したり、話し合ったりする機会をつくっています。



熊本地震で被災したが補助事業により復元された中庭堀

— 新廻屋柏原家住宅中庭堀が国有形文化財登録 — 上質な町屋建築として後世に継承

6/24 新廻屋柏原家住宅の中庭堀が国の有形文化財として登録されました。

新廻屋は、細川藩政時代に栄えた小川町商店街に位置。中庭堀はすでに登録されている主屋と離れの間に立ち、中庭を囲むように建築されたもので、上質な町屋建築として国土の歴史的景観に寄与していると評価され、今回の登録となりました。



自分の写真を眺めるニャン吉

— 明治日本の産業革命遺産写真展 — 旅猫ニャン吉が三角西港にやってきた

8/3 旅猫ニャン吉が飼い主と共に、三角西港の龍驤館で開催中の写真展「旅猫ニャン吉世界遺産旅行」を訪れました。旅猫ニャン吉は、全国を旅する猫で、三角西港を含む世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産に足を運んでいます。ニャン吉はリラックスした様子で、三角西港のレトロな雰囲気を堪能しているようでした。



宇城市特産の果物を使ったスイーツを買うために並ぶ客

— 大盛況のファーマーズマルシェ宇城 — キッチンカーに長蛇の列

7/22 道の駅不知火で「ファーマーズマルシェ宇城」が初めて開催されました。これは松合地区の若手生産者らが「市の特産品であるブドウやミカンなどのフルーツの味を多くの人に知ってほしい」と企画したもの。マルシェには地元の農家や市内に拠点を置く商店など32店舗が出店。多くの客でにぎわい、長蛇の列をつくっていました。



熱弁するプロ車いすランナーの廣道さん

— パラリンピアンが松橋高で講演 — 生きる力をつけるヒントを伝授

7/13 シドニーパラリンピック車いす陸上800m銀メダリストの廣道 純さん(47)が松橋高校で講演。体育コースの生徒40人が参加しました。廣道さんは高校1年生の時にバイク事故で下半身に障がいを負ったものの前向きな気持ちに切り替え、日本人初のプロ車いすランナーになった経緯や、世界を舞台に戦った経験などを話しました。



Zoomの画面を真剣に見つめる児童たち

— 不知火小と田浦小がZoomで交流 — 地域について学んだ内容を互いに発表

7/12 不知火小と芦北町立田浦小の3年生が、ミーティングアプリ Zoom で交流会を行いました。これは、総合的な学習の時間で同じ柑橘類を調べている学校との交流を目的に、初めて企画されたもの。この日は両校がオンラインでつながり、不知火小は「デコボン」、田浦小は「甘夏」について、お互いに学習内容を発表し合いました。